

福岡県議会議員(宗像市選出)

いのうえまさふみ

井上正文

自民党県議団 政策審議会 事務局長
福岡県農林水産員会 副委員長
ワンヘルス・地方分権調査特別委員
福岡県環境審議委員
自民党宗像市支部 支部長



令和4年は世界中を翻弄した新型コロナウイルスと共存していくウィズコロナの始まりの年になりました。今後は医療体制を強化し万全な対策を施した上で、コロナ前の生活を取り戻す政策にシフトしていかなければなりません。皆さんが安心して生活し、未来に希望の持てる政策を提言していきたいと考えております。

また、4月には宗像市長選挙、7月には参議院議員選挙がございました。安倍元総理の痛ましい事件が日本中を震撼させ、尾を引くように連日報道を賑わせておりますが、「すべては愛する宗像 輝く福岡のため」という強い信念のもと、日々精進し邁進し続けて参ることをお約束致します。

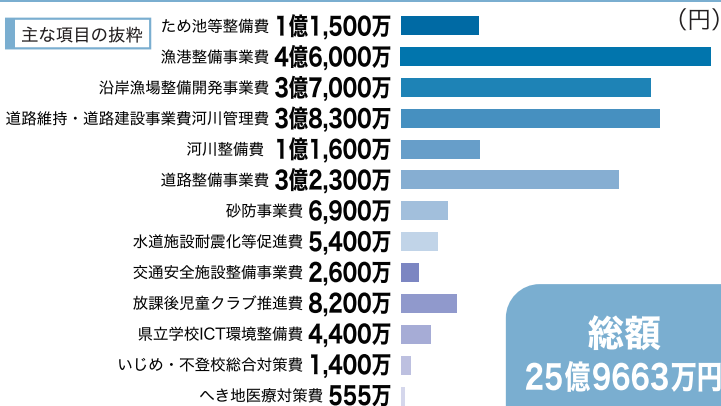
今回の県政報告では宗像市に関する県の予算や市内における県の事業をご紹介します。

裏面では、私が自民党福岡県議団政策審議会の事務局長として携わってきた提言・要望で、県の施策として実現した主な成果を抜粋して掲載しておりますので、ぜひご一読ください。

そのほか、県政に関してのご要望やご意見等がございましたら、お気軽にお寄せください。

令和4年12月 福岡県議会議員 井上正文

令和4年度福岡県一般会計当初予算のうち、宗像市に関する予算(抜粋・概算)



福岡県の未来を見据えて

1



世界・未来を見据えた成長・発展

- デジタル社会における産業の根幹であり、エネルギー・環境制約を克服するための大規模データセンターや半導体等デジタル産業をはじめとした企業を誘致します。
- 全ての子どもや健やかな成長を社会全体で支える「こどもまんなか」社会を実現します。
- ICTの積極的な活用により主体的・対話的で深い学びを実現するなど、学校教育を充実させます。
- 「北九州下関道路の早期事業化」、「北九州空港滑走路延長の早期実現」、「福岡高速3号線(空港線)延伸の着実な実施」など、発展基盤となるインフラ整備を進めます。

2



県民の命と暮らしを守る

- ワクチン接種の推進、検査能力の拡充、保健医療体制を強化し、万全かつ適切な感染症対策で、社会・経済活動を一層進め、県民の命と暮らしを守ります。
- 「福岡県ワンヘルス推進行動計画」に掲げる取組を展開することで、県民や事業者がワンヘルスの理念に基づき自主的に行動し、活動することで、人と動物の健康及び健全な環境が調和した社会を構築し、これを次世代につないでいくことを目指します。
- 県民の命を守るため、道路、河川、農業水利施設等の整備や流域治水プロジェクトを策定し流域治水を推進することで、防災・減災、県土強靱化を加速化させます。

3



農林水産業と地域経済の振興

- 農林水産業を成長産業化することによって、美しい地域の伝統文化を守り、活力ある地域をつくります。規模の大小や中山間地域といった条件に関わらず、所得向上や生産基盤の強化を図ります。
- 輸入依存度の高い小麦・大豆・飼料等の増産支援、米粉や国産小麦等の国産原料への切り替え等を支援します。
- 新型コロナや物価高騰等で苦しむ中小企業の資金繰りを支え、事業再生・再チャレンジを支援します。
- 第19回FINA世界水泳選手権福岡大会、ツール・ド・九州の開催により、青少年の健全育成をはじめ地域を活性化させます。

宗像市の出水対策として八並川の浚渫工事を実施



河道に堆積した土砂を維持管理上掘削しました。



河川内に繁茂している草や竹を伐採しました。

県道宗像篠栗線路面標示の塗り直し



地元住民の皆様の要望を受け、通学児童の安全対策を実現しました



吉武地区コミュニティ設立20周年記念式典



自民党福岡県議団が皆様の声を県政にお届けし実現した主な成果

2019年度（令和元年度）

●3年連続で発生した豪雨災害に迅速、全力で対応

- ・公共土木施設の復旧、被災者の生活再建、被災された商工業者や農林水産業者の事業継続支援など、被災地の復旧・復興を全力で推進

●ラグビーワールドカップ2019を福岡で開催

- ・全国12会場の1つとして国内外から多くの方が来県。日本全国がワンチームに。
- ・大会を一過性のものとせずスポーツ振興に繋げるためスポーツ推進基金創設

●国内外からの観光誘客を強力に推進

- ・外国人観光客のニーズに基づいた体験プログラムの情報発信
- ・サイクリング旅行者誘客のためサイクルスタンド等の整備を支援



●資生堂、アイシン精機等全国的企業が県内進出

- ・(株)資生堂が「久留米・うきは工業団地」に九州初の生産工場建設を、アイシン精機(株)が福岡市内にAI開発拠点設置を決定するなど企業立地が進展

●下関北九州道路が国直轄で調査開始

- ・関門トンネル・関門橋の代替機能の確保、下関・北九州地域の一体的発展のために必要な下関北九州道路について国が直轄調査を開始

●待機児童の解消に向けた保育士の人材確保

- ・保育士養成校生徒への就学資金貸付や、保育補助者経費の補助、就業マッチングサイト、待機児童等対策協議会設置等により保育士確保を支援



2021年度（令和3年度）

●コロナ感染症拡大防止と社会経済活動との両立

- ・感染拡大第4波～6波等に対応するため、23回の補正予算を議決
- ・広域接種センター設置等によりワクチン接種を支援するとともに、飲食店における認証店の拡大と認証制度の実効性確保を実施

●子ども医療費支給制度の助成対象拡大

- ・子育て世帯の経済的負担の軽減と子供の健康保持のため、子どもに係る医療費一部助成の対象を中学3年生まで拡大

●「福岡バイオバレープロジェクト」を国が認定

- ・内閣府の「地域バイオコミュニティ」第1号として、県と久留米市が連携して推進してきた「福岡バイオバレープロジェクト」が認定



●新・県立美術館基本計画を策定

- ・新県立美術館の建設予定地を県営大濠公園南側に決定、「公園と一体となった美術館」等をコンセプトとした「新福岡県立美術館基本計画」を策定

●福岡市地下鉄とJR福北ゆたか線の接続可能性調査

- ・福岡市地下鉄とJR福北ゆたか線の接続について、ルート案や概算費用、波及効果等について調査。令和4年7月、県議会に対し4つのルート案等の調査結果を報告

●福岡武道館の移転先決定

- ・県警察の武道訓練推進の場であるとともに、広く県民の皆様にご利用いただいている福岡武道館移転候補地を、利便性の高い福岡市民体育館隣接地に選定



2020年度（令和2年度）

●拡大する新型コロナウイルス感染症に対応するため医療供給体制を強化

- ・感染拡大第1波～3波等に対応するため、15回の補正予算を議決
- ・医療提供体制の整備、酒類提供を行う飲食店等への営業時間短縮要請等を実施



●ワンヘルス推進基本条例の制定

- ・人と動物の健康と環境の健全性を一つとして捉え、一体的に守るための取組みの基本方針を定めた「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を議員提案で制定



●日田英彦山線BRTによる復旧方針決定

- ・九州北部豪雨で被災したJR日田彦山線について、BRT専用道とする復旧方針決定。沿線振興のため日田彦山線沿線地域振興推進協議会を設立

●高病原性鳥インフルエンザの発生に迅速に対応

- ・令和2年11月に県内で発生した高病原性鳥インフルエンザに対し、殺処分等の防疫措置を迅速かつ徹底して実施



●北九州空港滑走路延長に向けた国調査の開始

- ・北九州空港の貨物拠点化に向けた滑走路3,000mへの延長について、国による調査が開始

2022年度（令和4年度）

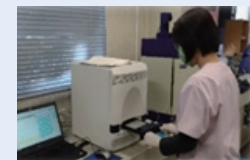
●原油等物価高騰への対策を実施

- ・交通機関、病院、社会福祉施設、子ども食堂等に対し物価高騰額の一部を支援
- ・化学肥料の低減に取り組む農業者に対し、国の「肥料価格高騰対策」に加え、県独自で上乗せ支援
- ・県制度融資に「物価高騰特別枠」を創設し、保険料を全額県負担
- ・小麦生産のためのスマート農業機械導入や米粉を使用した新商品開発を支援



●全数把握の見直しなど医療現場のひっ迫回避

- ・検査件数が高止まりし、発熱外来のひっ迫が継続する状況を改善するため、重症化リスクが低い65歳未満の有症状者等に対し、抗原定性検査キットを配布



●FAVA大会の開催支援、FAVA日本事務所誘致

- ・FAVA(アジア獣医師会連合)大会の開催を、レセプションへのワンヘルス認証農林水産物提供や視察(エクスカーション)協力等で支援。
- ・ワンヘルス実践活動を本県がリードするため、FAVA日本事務所を県内に誘致

●ワンヘルス実践促進条例の制定

- ・ワンヘルス推進行動計画の実効性を確保するため、ワンヘルス認証制度や鳥獣の適正管理等について定めた「ワンヘルス実践促進条例」を議員提案により制定

●ハラスメント根絶条例の制定

- ・ハラスメント行為が公正な政治参画の機会等を阻害している実態を解消するため、議員提案により「福岡県議会におけるハラスメントを根絶するための条例」を制定

